

教員名	柴坂 寿子 (SHIBASAKA Hisako)
所 属	生活科学部人間生活学科発達臨床心理学講座
学 位	理学博士 (1988 京都大学)
職 名	助教授
URL / E-mail	<a href="http://www.develop.ocha.ac.jp/">http://www.develop.ocha.ac.jp/</a> / shibasaka.hisako@ocha.ac.jp

## ◆研究キーワード

仲間関係 / 幼稚園 / 保育園 / フィールドワーク / 行動観察

## ◆主要業績

総数 ( 4 ) 件

- ・柴坂寿子・倉持清美  
園での準備活動の縦断的観察—あるクラスの事例  
日本発達心理学会第 18 回大会論文集 p.280
- ・公立幼稚園におけるフィールドワーク
- ・特別教育研究経費「幼・保の発達を見通したカリキュラム開発」による研究
- ・科学研究費「次世代育成コミュニティとしての大学における乳児保育施設の意義と可能性」による研究

## ◆研究内容

第一に、ある公立幼稚園のクラス集団を入園から卒園まで 2 年間縦断調査したフィールドワーク資料 (収集済み) の分析を行った。

幼稚園の弁当時の準備活動が縦断的にどのような変化を取るのか、入園時からのビデオ資料、フィールドノート等を元に分析し、再構成した。結果を発達心理学会で発表した。

第二に、公立幼稚園において、2006 年度入園のクラス集団のフィールドワークを引き続き行い、観察記録、保育者との話し合い記録を収集した。

第三に、特別教育研究経費「幼・保の発達を見通したカリキュラム開発」(代表: 浜口順子助教授) により、本学附属幼稚園・付属保育所の保育者及び本学保育系教員の合同研究を行った。

第四に、科学研究費「次世代育成コミュニティとしての大学における乳児保育施設の意義と可能性」(代表: 浜口順子助教授) による研究を行った。

## ◆教育内容

第一に、生活科学部人類科学講座 4 年生の教育を行った。「人類科学演習」で卒論の進捗状況報告や先行研究論文紹介を行わせ助言するとともに、卒業論文執筆及び口頭発表を指導・助言した。

第二に、生活科学部 1・2 年生の学部共通科目の教育を行った。「児童学概論」、「人間関係学」で子どもを理解する基本的視点を講義した。

第三に、生活科学部・発達心理学講座の学生の専門教育を行った。「発達臨床基礎演習Ⅱ」において、子ども理解につながるエソロジー的観点について講義した。

「発達臨床観察法」では観察法の基礎実習を行った。「発達社会文化論」では、園における子どもの行動について具体的事例を挙げながら講義し、附属幼稚園の見学も行った。

第四に、全学の留学生特別科目「日本事情演習ⅣA」を担当し、自然科学系科目を学ぶ上での背景知識を講義した。

第五に、人間文化研究科ライフサイエンス専攻では「比較行動学特論」で人間行動観察について基礎文献の講読・実習・演習を行った。

第六に、人間文化研究科保育・教育支援コースを兼任し、「子ども行動観察法」で現場の子ども行動の観察について講義・演習・実習を行うとともに、修論中間発表会において修論への示唆を行った。

第七に、人間文化研究科人間発達科学専攻では博士論文の副査を行うとともに、後期課程入試における審査に携わった。

第八に、学部研究生の指導を行った。

## ◆将来の研究計画・研究の展望

---

第一に、幼稚園・保育園などにおける観察と分析を継続し、これらの集積から、幼児集団における仲間関係とその変容について考察を深める。第二に、特別教育研究経費「幼・保の発達を見通したカリキュラム開発」（代表：浜口順子助教授）における研究を、附属幼稚園、附属保育所の保育者及び本学保育系教員と協力し進める。第三に、科学研究費「次世代育成コミュニティとしての大学における乳児保育施設の意義と可能性」（代表：浜口順子助教授）における研究を進める。

## ◆受験生等へのメッセージ

---

幼稚園、保育園など、子どもたちの生活の場における行動を観察・記述・分析している。子どもたちが園で体験することの豊さにいつも驚き、それを研究を通して伝えていければと思っている